



チックシベツ

教育目標
 たくましい身体の子
 ねばり強く働く子ども
 進んで学ぶ子ども
 美しく豊かな思いやりのある子ども

秩父別小学校だより 10月号 (平成28年10月7日) 【発行責任者 成田将人】



教室から聞こえてくる子供たちの歌声がだんだん熱を帯びてきました。
 今週末の学芸会に向けてラストスパートというところでしょうか。

「舞台裏」のがんばり <学芸会児童公開日の取組から>

私が小学生だった頃、1学年6クラスあり、学芸会には、劇か器楽のどちらかを選択して出演しました。劇のときは、主役にならない限り、セリフはほとんどありません。お月様を動かす仕事を兼務したのを覚えています。それでも、そのときは一生懸命で、100%集中してお月様を動かしたのを覚えています。

秩父別小学校の児童は、劇でのせりふも多く、音楽でも複数回登場して大変だと思います。

児童公開日の子供たちの動きを見ていて、感心させられたのは、舞台裏でのテキパキとした動きです。幕間の舞台裏では、道具・楽器の出し入れや放送の仕事に懸命に動きまわっています。

これは、すべて次の出演者のため、自分以外の人を成功を手助けするために、裏方で活躍しているのです。人のためにがんばる姿は素敵でした。

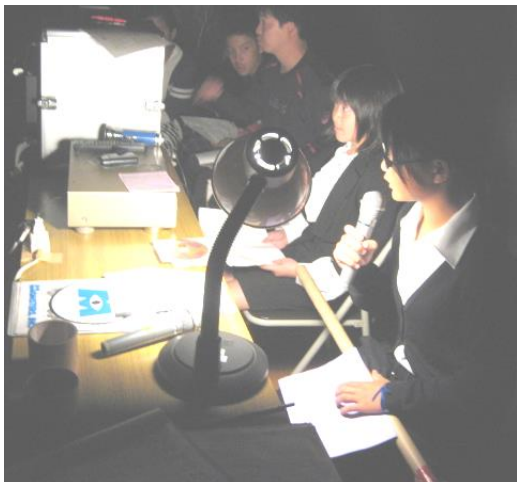
華やかな舞台は、裏方の活躍があつてのものです。子供たちのがんばりは誇らしく見えました。

先生の仕事も、主役である子供たちを光らせる裏方の仕事です。子供たちのがんばりを見習わなくてはと思った一日でした。

学芸会とは...

小学校の学芸会は、古くは、保護者や地域の人々に学校教育の実情を知ってもらうことも一つのねらいで、学業奨励会、教科練習会ともいわれ、そのために多くの学校が農閑期などを選んで実施されることが多かったようです。

最近では、しだいに校内的な行事の性格を強め、卒業生を送る会などの一環として実施する学校が増えつつあります。



<児童公開日 (10/5) の様子>